

《 コラム 》 Vol.16

天然ゴム製工業用指サックの種類

ノビサックは、元々工業用の指サックを一般消費者向けに改良された指サックになります。

今回はノビサックと同じような天然ゴム製の工業用指サックの種類をザックリと紹介致します。

工業用指サックは工場で組立作業に用いられることが多く、そのほとんどはノビサックと同じように、厚さが薄いのが特徴です。

工業用指サックの種類としておおまかに分けると、形状の違い、粉の付着量の違い、電気の流れ易さの違いに分けることが出来ます。

まずは形状の違いについて。

形状は大きく分けて2種類あります。

1つは指サックの口元にリング状の口巻が付いたタイプです。

口巻タイプは、よくロール状に巻かれているものが多いと思います。

ロールタイプといいます。

小さいコンドームのような感じですね。(若い頃はよくお世話になりました。)

ロールタイプの指サックは、最近では100円均一ショップでも販売されているみたいです。

もう一つはノビサックと同じように指サックの口元がカットされているようなカットタイプです。

カットタイプは口巻が無いので、締め付け感が無いのが特徴です。(好きです。)

工業用指サックの出荷数量としては、ロールタイプとカットタイプは50:50みたいです。

個人的には圧倒的にカットタイプの需要があると思っていましたが、そうではないみたいです。

価格の違いとかが関係しているかも知れませんね。

次に粉の付着量の違いです。

工業用指サックはノビサックと同じように、通常は粉が付着しております。

しかし精密機器や電気・電子部品の組み立てには粉を嫌う作業があります。

例えば粉が電気回路に付着してしまうと、電気回路がショートしてしまう可能

性があったりします。

そこで、指サックメーカーでは粉の付着量を出来るだけ少なくする工程を設け、粉の付着量の少ない指サックも製造しております。

また、粉の付着量がほとんどないノンパウダー指サックもあります。
ノンパウダー指サックは塩素を使って表面処理をします。
塩素を使用しますので、その作業はとても危険です。(よい子はマネしないでね。)
ノンパウダー指サックは粉が無くても指サックのべとつきが無く、指サックの表面はサラサラしております。
その代わりグリップ力が無く、紙めくり作業等には向いておりません。

ととのいました！
ノンパウダー指サックとかけまして、売れないお笑い芸人とときます。
そのころは・・・どちらもスベリまくります！（おそまつ）

次に電気の流れ易さの違いについて。
通常の天然ゴム製品は電気を通しません。
使用していると摩擦で静電気が帯電してしまいます。
ゴム風船と同じですね。

しかし電気・電気回路の組み立て作業等では静電気は嫌われます。
回路が静電気ショートしてしまうことがあるみたいです。
組立作業の皆さんはリストバンドを手首に巻いて、そこにアース線をつなげて静電気を帯電しないように工夫しているようです。
でも、指サックに静電気が帯電してしまったらアウト！です。

そこで、指サックに静電気が帯電しない帯電防止指サックがあります。
帯電防止指サックには帯電防止剤が使われてある程度でんきが流れやすくなります。
実はノビサックは帯電防止指サックの部類に入ります。
もしかしたら冬の季節の静電気パチッ！というのを防止できるかもしれません。(だれか検証してください。)

静電気に関してはもっと嫌うお客様もいます。
そのような場合はもっと電気を流れやすくした、導電性指サックがあります。
指サックの中に導電性のカーボンを配合して電気を通し易くいたします。

カーボンを使用するので指サックの色は真っ黒です。
このカーボンの取り扱いがとても難しいのですが、それは次回ということで。

以上、ザックリと工業用指サックの種類についてのお話でした。
もっと詳しく知りたい方はご連絡下さい。(一応プロですので。)